



検査データでの栄養評価

毎週NST回診が始まる前に、検査室の担当者は回診リストを元に対象患者様の検査データを揃えます。検査データからわかる栄養指標についてお伝えしようと思います。患者様の検査データを確認するときに参考にしてみてください。

臨床検査室：神谷敏之

血清アルブミン (ALB)

内臓タンパク質をよく反映し、栄養状態の指標として広く利用されています。現在の栄養治療が適切であるかの指標というより、今後栄養不良に陥りやすい低栄養リスクの指標です。

総リンパ球数 (TLC)

$TLC (/mm^3) = \text{白血球数} (/μL) \times \% \text{リンパ球} (\%) \div 100$

この計算は免疫能や栄養状態の指標として有用です。しかし、感染症や白血球が増加する場合は上昇し、がん、代謝ストレス、ステロイド投与、術後には低下するので、栄養状態の絶対的な指標ではありません。

	軽度低栄養	中等度低栄養	高度低栄養
血清ALB (g/dl)	3.1~3.5	2.5~3.0	2.5未満
TLC (/mm ³)	1500~1800	900~1500未満	900未満

予後栄養指数 (PNI) $PNI = \text{血清ALB (g/dl)} \times 10 + \text{TLC} (/mm^3) \times 0.005$

栄養障害がない：50~60 予後不良：36~40

※35以下は60日以内に死亡する可能性があるといわれています

低ALB血症における確認ポイント

- ・急激な低下を示した場合：脱水の補正、術後の失血の有無
- ・食欲不振、嘔吐、下痢の継続の確認
- ・肝機能障害、腎機能障害、甲状腺機能亢進症などの有無
- ・重度の褥瘡の有無
- ・CRP (炎症反応) の異常高値 (10mg/dl以上)
- ・高血糖状態の継続の確認 (HbA1cが13%以上)

ALBは半減期が約21日と長いので、すぐの栄養状態の確認には不向きな部分があります。その時は半減期が11日のChEや半減期が2.5日のT-Choが血清ALBに先駆けて動いているかなど、他の検査項目と比較します。

○栄養評価関係の検査項目の半減期の比較表○

項目	略語	半減期
アルブミン	ALB	21日
プレアルブミン	Pre-ALB	0.5日
トランスフェリン	Tf	7日
コリンエステラーゼ	ChE	11日
総コレステロール	T-Cho	2.5日
C-反応性タンパク	CRP	5~6時間

※太字は外注検査項目で結果が出るまで2~3日かかりますm(_ _)m

第10回 NST研修会報告 2016.3.2(水) 17:30~18:30

NST協力スタッフが増えました!



NST協力スタッフ：NST研修修了者【ワニバッチ授与】13名



- | | |
|-------|---------------------------------|
| 管理栄養士 | ：不破千香子 |
| 看護師 | ：佐藤友美、佐藤里帆、迫田さおり、
後藤千香子、松村有沙 |
| 薬剤師 | ：木原健介、後藤博、高須萌里 |
| リハ科 | ：武藤友加里、中原菜月、清原圭一郎 |
| 検査技師 | ：岡田絵里加 |

H27年度の研修修了者全員に当院NSTチェアマンの林慎先生からワニバッチが交付されました!



本年度10回以上の研修参加者 13名

- | | |
|-------|----------------------------|
| 管理栄養士 | ：石黒玲子、大水まり、梅村晴子、松岡舞華、松井さおり |
| 薬剤師 | ：長谷川裕矢、山谷雅子、後藤愛理、塚本みゆき |
| リハ科 | ：岡村由美子、柳澤良佳、金森篤臣、稲川康子 |

○4月からNST専従栄養士が変わりました○



今年度よりNST専従栄養士の穂山(あきやま)直美です。昨年度に引き続き今年度も勉強会、セミナーの開催等活発なNSTを目指しての活動を考えています。病棟などで見かけた時には是非気軽に声をかけていただければと思います。